

食品ロス低減 プロジェクト

「生産・流通・販売・消費の各
段階ごとの食品ロスを考える」

就実大学食品ロス低減研究会



本プロジェクトの目的・社会実験・方法

目的:「食品ロス低減のための農産物の生産・流通・消費過程での取り組みの推進」

- プロジェクト活動協力者・機関との調整
- 問題・課題の抽出
- 活動の企画・計画

プロジェクト活動に関わる
事前のデータ収集・分析

社会実験のデザインと実施

プロジェクト企画

- (1) 売れ残り野菜の社会貢献プロジェクト
- (2) 生産現場での残さ低減プロジェクト
- (3) 販売現場での食品ロス低減プロジェクト
- (4) 消費段階での食品ロス低減プロジェクト1
- (5) 消費段階での食品ロス低減プロジェクト2

社会実験の結果からの提言・提案

(1) 売れ残り野菜の社会貢献プロジェクト

供給側の調査

農家・JA・小売店など

売れ残り野菜の調査
種類・数量・状態・発生頻度

売れ残り野菜のリスト作成

需要側の調査

子供食堂・福祉施設・学校法人

需要条件の調査
野菜品目、必要量、状態、保管条件

需要条件リストの作成

リストの照合

試験的な提供

実際の利用状況

結果からの課題・流通条件の整理

(2)生産現場（農場）での残さ低減プロジェクト

廃棄される野菜の収集	廃棄野菜の計量	廃棄理由の記録	結果をまとめる
廃棄される野菜を集める。 形が小さいものや、品質に問題がある等	集めた廃棄される野菜を袋に詰めて、重量を測る	各廃棄品の理由の記録	調査結果の分析と残さ低減のための工夫の提言



(3) 販売現場（直売店）での食品ロス低減プロジェクト

－ 食品ロス削減に向けた直売所POPの改善・検証 －

POPによって購入意欲につながる情報を明らかにして売れ残りをなくし食品ロス削減に役立つPOPの作成を実現させたい。

直売所の調査



オリジナル
POPの作成



アンケート
による検証

比較検証

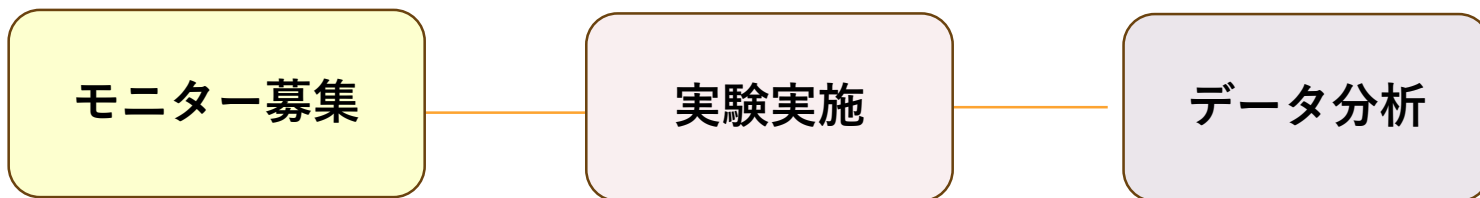
- 消費者に直売所と自分のPOPを比較してもらう
- 調査結果をもとに、購買意欲につながるPOPの情報が何かを明らかにする。



(4)消費段階（家庭）での食品ロス低減プロジェクト 1

－ 消費者の意識変容による食品ロスの低減推進－

買い物リスト作成や食品ロス情報の提供が、購買行動・食品ロスに与える影響を検証



比較実験（4 グループ：A,B,C,D）

グループ	食品ロス情報	買い物リスト	内容
A	提供しない	作らない	普段通りの買い物
B	提供する	作らない	情報を読んだ後、普段通りの買い物
C	提供しない	作る	買い物前にリストを作成
D	提供する	作る	情報を読んだ後、リストを作成して買い物

(5)消費段階（家庭）での食品ロス低減プロジェクト2

－消費者の意識変容による食品ロスの低減推進－

目的

食品購入後に食品ロスに関する啓発を行うことで消費者の行動に変化があるか。

グループA

通常の食に関する質問

第1 アンケート調査

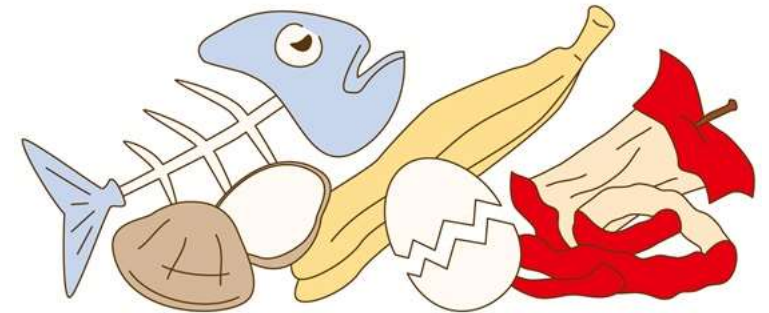
グループB

通常の食に関する質問
＋「食品ロスの啓発文」

第2 アンケート調査
「食べ切りや廃棄の割合に関する質問」

食品ロス情報の効果測定

A・Bの結果の比較から、食品ロス情報の効果を測定



京都市役所への聞き取り調査

食品ロス量が最も少ない京都市の市役所に、食品ロス削減の取り組みについて聞き取り調査を実施。余った食品を福祉施設などに提供するフードドライブや、消費者が食品ロスを身近に感じれるような啓発方法について話を伺い、進行中のプロジェクトの糧とすることができた。



以上、発表を終わります。